

無料相談窓口

悩んだら
相談しよう!



※ 祝日は休みます。

	相談内容	日時	会場・問い合わせ
暮らし	一般相談	月～金曜日 8:45～17:15	市民相談所 ☎ 381-1021
	税務相談 (要予約) ※税理士が税金全般について相談を受けます	7月18日(水)、 8月15日(水) 13:00～16:00	市民税課 ☎ 381-1012
	家庭生活 悩みごと相談	月曜日 10:00～15:00	総合社会福祉センター ☎ 385-1234
		水曜日 10:00～15:00	にこにこ相談室 ☎ 389-7830 (総合社会福祉センター内)
		木曜日 10:00～15:00	市役所大麻出張所 ☎ 382-4855
	悩みごと テレホン相談	火、金曜日 10:00～15:00	総合社会福祉センター ☎ 389-7830
消費生活相談	月～木曜日 9:30～16:30 金曜日 10:00～16:00	市役所第二別館2階 消費生活相談室江別消費者 協会 ☎ 381-1026	
健康	こころの健康相談 (要予約) ※精神科医師・保健師が 相談を受けます	7月12日(木) 13:30～16:00	北海道江別保健所 ☎ 383-2111 【こころの健康相談】 ※精神科受診歴のある方は要相談 前日12:00まで予約受付。
	女性の健康相談	7月10日(火) 13:30～15:30	【女性の健康相談】 前日16:00まで予約受付。
	親子健康相談	7月25日(水) 13:30～15:00 8月1日(水) 9:30～11:00	
	へるすあつが相談 (要予約) ※生活習慣病予防相談・ 栄養相談	7月13日、 20日、27日、 8月3日 いずれも金曜日 13:30～15:30	保健センター ☎ 385-5252
	こころと体の 健康相談 ※保健師・栄養士が 相談を受けます	月～金曜日 9:00～17:00	
	子育て・教育	乳幼児の子育て 相談	月～金曜日 9:00～17:00
子育てテレホン 相談		月～金曜日 10:00～12:00	相談室(教育委員会内) ☎ 384-7005
家庭児童相談		月～金曜日 9:00～17:00	子ども家庭課 ☎ 381-1236
母子・寡婦相談			
教育相談 (要予約) ※臨床心理士が相談を 受けます		7月10日、17日 ① 10:00～11:00 ② 11:00～12:00 いずれも火曜日	少年指導センター (青年センター2階サークル室3) ☎ 384-7830
いじめ・不登校 相談		月～金曜日 10:00～17:00	少年指導センター ☎ 382-4044

	相談内容	日時	会場・問い合わせ
福祉	認知症の 介護相談	水、木曜日 10:00～15:00	いきいきセンターさわかち ☎ 387-5657
		木曜日 10:00～15:00	総合社会福祉センター ☎ 389-7830
	高齢者総合相談	月～金曜日 8:45～17:15	江別第一地域包括支援セン ター ☎ 389-4144
		月～金曜日 8:30～17:30	江別第二地域包括支援セン ター ☎ 389-5420
		土曜日 8:30～12:30	
		月～土曜日 8:45～17:45	野幌第一地域包括支援 センター ☎ 381-2940
		月～金曜日 8:30～17:00	大麻第一地域包括支援セン ター ☎ 388-5100
		土曜日 8:30～12:30	
	精神障がい 回復者生活相談	月～金曜日 10:00～15:00	あすか就労継続支援施設 ☎ 382-0660 あすか地域活動支援センター ☎ 391-9222
	障がい福祉相談	月～金曜日 8:45～17:15	障がい者支援センター ☎ 802-5004
行政・法律	法律相談 (要予約)	7月12日(木)、 26日(木) 13:00～15:00	市民相談所 ☎ 381-1021
	行政相談	7月26日(木) 13:00～15:00	※法律相談については、7/26日から 予約受付。各相談日先着5人。
	人権相談	7月19日(木) 13:00～15:00	
その他	金融相談 (要予約)	7月3日(火)、17日 (火)、8月7日(火) 10:00～15:00	江別商工会議所 ☎ 382-3121
	子ども電話相談	月～金曜日 10:00～17:00	少年指導センター ☎ 384-7830
	ヤングテレホン	月～金曜日 13:00～17:00	相談室(教育委員会内) ☎ 383-8009
	犯罪被害者支援	月～金曜日 9:00～17:00	市民生活課 ☎ 381-1018

★7月★ 献画バスひまわり号巡回日程

日	時	場所
7/5(木)	14:30～16:00	(財)北海道農業協同組合学校(文京台東町43-1)
	9:30～11:00 12:30～16:30	江別市役所(高砂町6)
7/23(月)	9:30～11:00	(株)日本デジタル研究所(西野幌120-5 RTN パーク内)
	11:30～13:00	北海鋼機(株)(上江別441)
	14:30～16:30	JA道央江別支所(6条8丁目)
7/24(火)	9:30～10:30	北海道立図書館(文京台東町41)
	12:00～13:30	江別郵便局(王子16-15)
	14:00～16:30	ザ・ビッグ江別店(野幌町10-1)

防災 コラム

「いざというとき」のために非常持出品の用意を!

～ 衛生用品や常備薬、処方薬を忘れずに ～



皆さん

は、災害時の非常持出品を準備していますか?

災害発生後約3日間は、物資が届かないことを想定し、可能な限り被災地内で備蓄されている緊急物資や店舗などの在庫物資でまかなうことが指標とされています。しかし災害時には予想もつかないことが起こるものです。東日本大震災では津波による被害が大きく、食料品や医薬品の在庫が、3日間を待たずにゼロになった地域が多かったようで、自治体だけではなく住民の普段の備えが大きな支えとなりました。

非常持出品として意外と準備されていないのが、オムツや生理用品です。これらは、食糧などと並び必要不可欠な物であると言えます。市としても各メーカーと保存方法や物流方法などを相談しつつ、備蓄に向けて検討していますが、衛生用品であ

るがゆえに長期保存ができず、個々のニーズに細かく配慮できないことから、非常持出品に加えていただきたい物のひとつです。

3月に全戸配布した「防災あんしんマップ」にも、非常持出品の参考例を掲載しました。しかし、これらはあくまでも目安であり、個人により必要なものが異なるかと思えます。中でも常備薬は、東日本大震災において準備しておいて良かったという話をよく聞きます。風邪薬や鎮痛剤、湿布、そして何よりも持病をお持ちの方には必要なお薬の用意をお勧めします。災害が起きて心理的な影響から体調を崩される方が多くなり、薬も十分に供給されない状況が予想されるからです。

最低限必要な持出品に皆さんは何を用意しますか?この機会にぜひ考えてみてください。

【詳細】 総務課(危機対策・防災担当) ☎ 381-1407